

1. 巻頭言

センターレポート第19号によせて

長崎大学総合情報処理センター長

黒田 英夫

e-mail : kuroda@cis.nagasaki-u.ac.jp

皆様ご承知の通り、長崎大学では大学改革推進委員会での検討の基、長崎大学が21世紀を目指すものということで大幅な改革を進めているところであります。長崎大学の理念として、”長崎に根付く伝統的文化や思考を継承しつつ、地球の平和を支える文化を創造し、豊かな人間性を育み、地域と国際社会の発展に貢献する”ことを理念として行動するとあります。地域と国際社会の発展に貢献するためには、まず、地域や国際社会の情勢を知る必要があります。このためには情報の受信システムを充実させておく必要があります。また、長崎大学がもっている知識・技術等を外部に公表する必要があります。このためには情報の発信システムが重要であります。情報の発信手段として、最近ではホームページが盛んに利用されるようになりました。しかし、一方で政府のホームページが第三者により書き換えられるといったような事件が大きな問題となっております。

このような状況の下、総合情報処理センターとして、学内外にどのように貢献していくべきか、それが取りも直さず、総合情報処理センターの自らの改革案となります。

総合情報処理センターは、昭和45年に全学共同利用の「電子計算機室」として工学部に設置され、その後学内措置により「情報処理センター」となり、昭和63年に省令施設として現在の「総合情報処理センター」へと発展してきました。総合情報処理センターは、計算機利用による研究効率の向上を目的として、計算機利用の研究環境を全学共同利用として提供することが、長年の主要業務でありました。その後、インターネット利用の爆発的な増大や、計算機の小型・低廉化の進展による個人利用の急激な浸透、さらには、企業における採用活動のインターネット利用の増大など、社会情勢は一気に情報化の方向を辿りました。総合情報処理センターも同様で、平成6年には長崎大学キャンパス情報ネットワーク NUNet が、また平成8年にはATMネットワークシステムが稼働するとともに、それまでの主要業務であった研究環境の提供の他に、ネットワークの設計・維持管理及び教育環境の提供が業務として加わることになりました。また情報教育に関しては、教育環境の提供だけでなく、総合情報処理センターとして4駒の情報関連科目の授業も担当するようになりました。上述したような、これまで総合情報処理センターが行ってきた業務はますますその重要度が増す一方であります。

それに加えて、郵政省が研究用の高速ネットワークを全国的に提供しているギガビットネットワークについて、その接続装置を長崎へ導入すべく、長崎大学の池田学長を始め県を上げての要請活動の結果、長崎への導入が許可されることとなり、その接続装置が平成12年度に総合情報処理センターに設置されることになりました。この要請活動の一環として、研究テーマをご提案頂いた先生方にこの場を借りてお礼申し上げます。この接続装置が長崎に設置されることにより、長崎県の産学官の関係者がギガビットネットワークを利用することができるようになり、長崎における情報利活用技術の進展に多いに貢献できるものと確信致します。このギガビットネットワーク利用の研究活動の拠点として、現在進められている大学改革の一環であるオープン実験室との関わりも大きくなるものと思われまます。

総合情報処理センターでは、平成12年度末リプレース予定の総合情報処理センター電子計算機システムの仕様を現在策定中ですが、上述したような状況を踏まえて、これまでの研究用設備と教育用設備の他に、情報利活用のためにどのような設備を導入すべきかを検討しております。

その一つとして、現在横行しているハッカーに対して、ホームページのセキュリティ対策をより強固なものにするために、各部局のWWWサーバを総合情報処理センター電子計算機システムの仕様に入れて欲しいというような要望も上がっております。

世の中が情報化の一途を辿っている中で、大学の情報化も遅れをとってはなりません。このため、学内情報化推進委員会の設置も必要だと考えております。このように考えてくると、これまでの総合情報処理センターの在り方では、学内外に対して十分な貢献を果たしていくことは不可能であります。このため、大学改革の中で謳われている総合教育研究推進機構の中の一環として、これまでの総合情報処理センターより母体の大きい組織として、情報メディアセンターの設置を提案させて頂いております。この情報メディアセンターは、情報に関する多くの業務が個別に行われることの非効率さを改善するために、大きな母体一箇所で行うことにより、全体としての効率を高めようとするものです。

大学改革を行う重要な時期において、総合情報処理センターとして十分に貢献できる組織でありたいと願っております。全学のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。